

令和3年度 連携型中高一貫教育 実施報告

<飛騨地区> 飛騨市立神岡中学校 飛騨市立山之村中学校 岐阜県立飛騨神岡高等学校

1 連携型中高一貫教育の目標とその達成に向けた具体的な取組

(1) 連携型中高一貫教育の目標

「ともに育てよう元気な神岡の子」をめざし、

- ①未来の創り手となるために必要な資質・能力を身に付けた子
- ②自分に自信をもち、夢や目標に向かって挑戦する子
- ③地域に愛着と誇りをもち、地域に貢献できる子

を育てる。

(2) 連携型中高一貫教育の令和3年度の重点

- ・中高教員の授業交流活動の充実による自分から学ぼうとする力の育成
- ・地域の人や産業から学ぶ体験学習の充実による目標に向かって挑戦する心の醸成
- ・生徒、保護者、地域との交流活動の推進による地域に貢献する態度の育成

2 目標達成に向けた具体的な取組における成果と課題

目標	取組	成果と課題	
確かな学力を身に付けるために	学習習慣の確立	<p>○Step by Step の訪問面談を通じて、中学3年生の数学・英語に取り組む様子を確認し、生徒の学習意欲の喚起につなげることができた。</p> <p>○生徒は記録用紙に指導内容を記入することにより、中学校教員が指導内容を把握することができた。</p> <p>▲新しい活動(中3高校授業見学・体験、高校教員T1授業、ICT活用意見交換)について取り組めていない状況である。</p>	 <p>【 Step by Step 面談 】</p>
	生徒同士の交流	<p>○先輩と語る会は、高校1・3年生との懇談を実施し、高校生活の始まりと卒業後の進路状況を知り、中学生が進路を考える上で非常に効果的だった。</p>	
	中高教員の交流	<p>○TTによる授業交流では、一斉授業とは異なる視点で生徒の理解度を確認することができ、個に応じた指導を行うことにより、高校への学びにつなぐ効果が見られた。</p> <p>▲中高教員のTTでの授業交流の際、単元終了時などに、中学校の学びが高等学校の学びにつながることを感じることができるよう授業を実施できると、学びの意欲喚起になるのではないかと。</p>	 <p>【 TTによる授業交流 】</p>
目標挑・戦夢すにる向たかめつにて	出前授業	<p>○コロナ禍で十分な取組はできなかったが、数少ない出前授業の1つ1つがより専門的な学びを知るうえで貴重な体験となった。</p>	
	体験学習の充実	<p>○社会人講話では、地元企業の方を講師として招いた。地元にある企業の理解だけでなく、仕事内容や資格、地域で生きることを学び、キャリアデザインに直結する学びができた。</p> <p>○地域人材を活用することで、地域ぐるみで生徒を育てる意識の向上につながった。</p> <p>▲中止になる取組が多くあったので、テレビ会議などの方法を用いた交流活動を検討したい。</p>	 <p>【 社会人講話 】</p>
	部活動体験	<p>・感染予防のため、部活動交流会の実施を見合わせた。</p>	

(様式5)

地域に貢献のするため態度の	地域での合同活動	○令和3年度もコロナ禍のため、やむなく各校での挨拶運動となったが、3校が時期を合わせて取り組むことができた。また、生徒はこれまでの活動を参考にしながら、意欲的に活動に取り組んだ。 ○今年度はMSリーダーズが、神岡中1日入学の場で、小学6年生と保護者を対象に、情報モラル教育を行い、地域への貢献につながった。 ▲コロナ禍のため、合同活動がほとんどできなかった。
	地域との交流の推進	○コロナ禍のため、広く参加を促すことはできなかったが、学校だより等で行事の紹介を行った。